

令和元年度全国学力学習状況調査より

～ 結果・分析・対策 ～



令和元年 9 月

日南町立日南中学校

令和元年度全国学力学習状況調査より

～ 結果・分析・対策 ～

日南町立日南中学校

実施日	平成31年4月18日(木)
対象	全国の中学校3年生全員 (日南中26名)
実施問題	国語、数学、英語

I 身につけさせたい力・資質として(学校重点目標より)

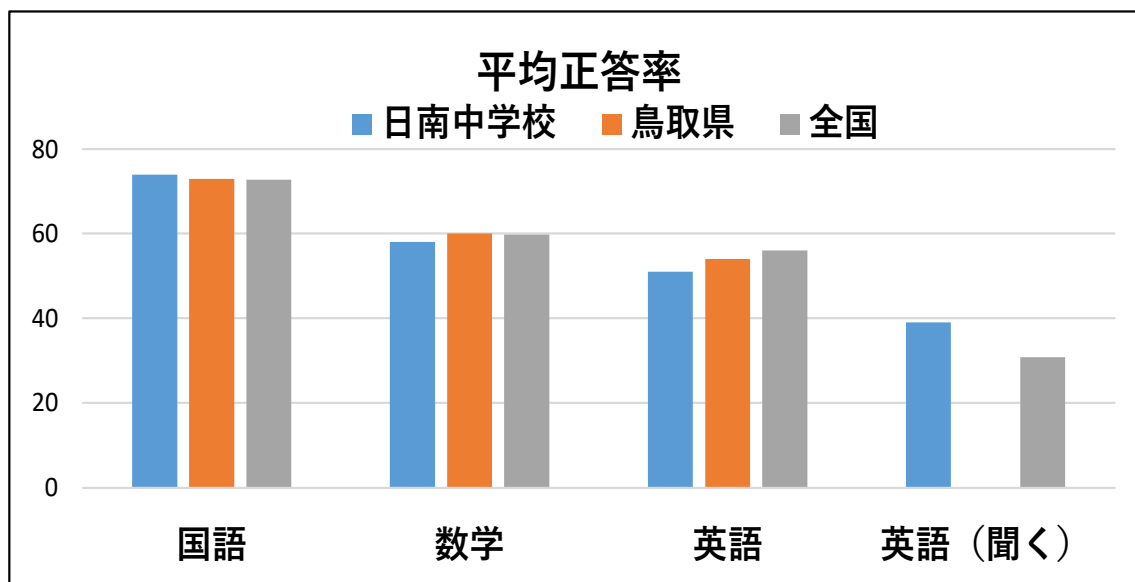
- 基礎・基本の徹底による学力の定着と向上
- 一人ひとりの個性の伸長
- 豊かで健やかな心身の育成と鍛錬
- 特色ある特色ある教育活動の展開



pixta.jp - 22496040

II 教科の学力状況について(学力調査より)

平均正答率



今年度より A,B 問題の区別が無くなりました。そのため過年度との単純な比較はできなくなりました。また、今年度より英語の試験が導入されました。

【国語】

県平均・全国平均を1ポイント程度上回りました。

観点の『書く能力』では、平均を4ポイント程度下回りました。『読む能力』、『言語についての知識・理解・技能』は上回りました。特に『言語についての知識・理解・技能』は昨年度は低い傾向にありましたが、今年度は大きく上回りました。『国語への関心・意欲・態度』の観点も上回りました。

領域の『話すこと・聞くこと』の「話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する問題」は学校全体で正答率が低く、重点的に指導すべきと考えられる問題です。

高正答率分析対象が県平均は2.2ポイントに対し、23.1ポイントと大きく上回りました。全体的に県平均・全国平均を上回ったことは、一定の成果ととらえられると思います。

【数学】

県平均・全国平均を2ポイント程度下回りました。評価の観点の「数学的な見方や考え方」では平均を3ポイント程度上回りましたが、「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」においては7ポイント程下回りました。領域では『図形』において8ポイント下回り課題が見られますが、そのほかの領域では平均値程度でした。

昨年度までは全国平均県平均を大きく下回っていましたが、平均値に近くなっており取り組みの成果と考えます。

【英語】

今年度から英語のが実施されました。全国平均から5ポイント、県平均から3ポイント下回りました。

領域では、『聞くこと』は県・全国平均を上回り、『読むこと』『書くこと』については5ポイント程度下回りました。まとまりのある英文を読んで答える問題や英作文について正答率が低くなり、『話すこと』は全国平均を8ポイント上回りました。基本的な文法を使って応答する問題は大きく平均を上回りましたが、即興で質問する問題、自分の考えをまとまりのある英文で表現する問題は下回りました。

語彙や文法事項の定着だけでなく、その基礎的な力を使って、まとまりのある英文を読んだり、書いたりする課題にも対応できるようにする必要がありますと考えます。

◆学力の状況に関する質問紙調査の回答結果（抜粋）より

(67) 国語の解答時間は十分でしたか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 100	0
鳥取県	90.4	9.6
全国	90.3	9.7

(68) 数学の解答時間は十分でしたか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	84.7	15.4
鳥取県	83.6	16.1
全国	84.7	15.1

(69) 英語の解答時間は十分でしたか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 73.1	25.9
鳥取県	61.3	38.6
全国	63	36.8

(37) 1, 2年生のときに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか？

%	肯定的選択	思わない
日南中学校	● 84.6	15.3
鳥取県	78.9	21
全国	74.8	24.9

(41) 国語の勉強は大切だと思いますか？

%	肯定的選択	思わない
日南中学校	● 96.1	3.8
鳥取県	91.7	8.3
全国	91	8.9

(49) 数学の勉強は好きですか？

%	肯定的選択	嫌い
日南中学校	● 65.4	34.6
鳥取県	56	44
全国	57.9	42

(50) 数学の勉強は大切だと思いますか？

%	肯定的選択	思わない
日南中学校	● 93.3	7.7
鳥取県	85.8	14.1
全国	84.2	15.7

(52) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 84.6	15.3
鳥取県	79.3	20.5
全国	76.2	23.6

(54) 英語の勉強は好きですか？

%	肯定的選択	嫌い
日南中学校	● 61.6	38.5
鳥取県	56.7	43.3
全国	56	51.1

(55) 英語の勉強は大切だと思いますか？

%	肯定的選択	思わない
日南中学校	● 92.3	7.7
鳥取県	84.5	15.5
全国	85.4	14.6

(56) 英語の授業内容はよくわかりますか？

%	肯定的選択	わからない
日南中学校	● 73.1	23
鳥取県	65.5	33.4
全国	66	33.8

(57) 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか？

%	肯定的選択	思わない
日南中学校	● 96.2	3.8
鳥取県	84.1	15.6
全国	85.4	14.4

上記の回答結果の●からは、各教科とも、勉強することが大切だと考える生徒が、県、全国平均を上回っています。また、数学、英語では将来社会に出たときに役に立つと考える生徒が平均を上回っています。このことから、学習することの意味、意義を理解しながら取り組んでいることがうかがえます。また意欲や興味関心も高いと考えられます。

定期試験への計画を立てること、その実施についての担任との振り返り、忘却曲線を使った PT プリントでの学習の意味の説明、LPT など様々な取り組みの成果が着実に現れていると考えられます。今後もきめ細やかな指導と洗練された PT プリントの作成、学習の仕方の定着を目指していきたいと考えます。

(45) 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 88.4	11.5
鳥取県	80.1	19.8
全国	77.4	22.5

(46) 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 73.1	26.9
鳥取県	67.1	32.8
全国	64.4	35.4

上記の回答結果の●からは、まず、国語の授業の中で自分の考えを話したり書いたりする場面が設定されているということです。そして、生徒たちはその学習に前向きに取り組んでいると考えられます。本校では教え合いのペアリングを作り、授業中の話し合いがスムーズに進むようにしています。このこともこのアンケート結果につながっていると考えます。今後もさらにこの取り組みを進めていきたいと思います。

(60) 1, 2年生の時に受けた授業では英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 88.4	11.5
鳥取県	81.3	18.6
全国	79.2	20.6

(62) 1, 2年生の時に受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 80.8	19.2
鳥取県	65.5	34.3
全国	62.9	36.8

(61) 1, 2年生の時に受けた授業では英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 88.5	12.5
鳥取県	83.3	16.6
全国	81.2	18.6

(64) 1, 2年生の時に受けた授業では自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 92.3	7.7
鳥取県	83.3	16.5
全国	80.1	19.5

上記の回答結果の●からは、まず、英語の授業の中で、聞くこと、書くこと、読むこと、話すことの4技能に関する活動が県・全国平均よりも上回って行われていることがうかがえます。特に即興で自分の考えや気持ちを伝え合う活動は大きく上回っています。帯学習での、small talkなどを取り入れて学習しています。書く活動も上回っていますが、点数に結びついていないことを考えると、Out Putをすることは単に記憶することだけでは伸びない側面もあるので、さらに継続的な指導が必要であると考えます。

(12) 学校に行くのは楽しいと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 100	0
鳥取県	90.4	9.6
全国	90.3	9.7

(11) 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組みうれしかったことはありますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 100	0
鳥取県	84.6	15.3
全国	82.8	17.1

(9) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 100	0
鳥取県	94.4	5.5
全国	93.9	6

(8) 将来の夢や目標を持っていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 80.8	19.2
鳥取県	70	30
全国	70.5	29.4

(7) 先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについてわかるまで教えてくれていると思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 100	0
鳥取県	84.8	15.1
全国	84.6	15.2

(10) 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 80.7	19.2
鳥取県	70	16.1
全国	70.5	15.1

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問には100%の生徒が肯定的な回答をしています。これについて、上記の回答結果の●からは、単なる面白さを感じていることでの楽しさではないと考えられます。夢や目標を持ち、周りの生徒、教員と関わり合いながら、物事を成し遂げることを経験することができていると捉えられます。ともいき科の取り組みの成果と考えることができます。

Ⅲ 学校・家庭生活状況について [質問紙調査及び学校アンケート★の回答結果 (抜粋) より]

(1) 朝食を毎日食べていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	96.2	3.8
鳥取県	94.8	5.2
全 国	93.1	6.9

(3) 毎日同じくらいの時間に起きていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	92.3	7.6
鳥取県	93.9	6
全 国	92.8	7.2

(2) 毎日同じくらいの時間に寝ていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	80.8	19.2
鳥取県	80.5	19.5
全 国	78	22



朝食の摂取、起床、睡眠といった規則正しい生活は概ねよい傾向にあると言えます。ほとんどの生徒がバス通学であることも要因です。食育の取り組みの成果とも考えられます。

(18) 学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）

%	3時間以上	2時間以上	1時間以上	30分以上	30分以下	全くしない
日南中学校 (人数：約)	▲ 0 (0)	▲ 0 (0)	▲ 30.8 (8)	38.5 (10)	▲ 15.4 (4)	▲ 15.4 (4)
	8.7	0	43.5	47.8	0	0
鳥取県	6.4	23.4	38.3	20	8	3.9
全 国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4

家庭学習の時間の少なさは長年の課題です。昨年度よりも減っている状況が見られます。30分以下、全くしてない割合が30%を越えています。PTプリントを学校でやることで満足している生徒が多いことが考えられます。テスト前はきちんと計画を立て、学習時間も確保できているので、それを繰り返し家庭での学習につなげる取り組みが必要だと考えます。毎日の確実な復習の家庭学習の時間を保護者とも連携しながら進めていきたいと思ひます。

(23)地域の行事に参加していますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 84.7	15.4
鳥取県	58.6	41.3
全 国	50.6	49.3

(24) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 61.5	38.5
鳥取県	40.8	59.1
全 国	39.4	60.5

(26)日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか？

%	肯定的選択	全くない
日南中学校	● 69.2	30.8
鳥取県	61.7	38.2
全 国	59.3	40.5

例年、地域行事への参加や地域との関わりは高い傾向にあります。中学生としていかに地域に貢献できるか、地域の中でいかに中学生の存在と価値を見いだせるかを考えながら、学校行事や体験活動の取り組みをすすめています。体育祭で中学生の元気を発信すること、ふるさと祭りでのステージ発表、町内の福祉施設、保育園への訪問など、さまざまな体験から生まれる感動や達成感、充実感が感じられる教育活動を重視しています。

近年では、「ともいき科」として京都大学留学生との交流、シアトル市中学生との交流、また町としての海外派遣事業も行っています。英語や海外に対する興味は徐々に高まっていると感じますし、生徒たちは前向きにコミュニケーションをはかろうとする姿になっていると感じます。

社会に出て生きて働く『コミュニケーション力（会話・交流）』・『コラボレーション力（協力・協調）』・『プレゼンテーション力（表現・創造）』の育成をそれぞれの取り組みの中で、目標としてすべての教職員で共有し、明示的に生徒に提示し、達成に向けて努力しています。



IV 日南中学校における学力向上に向けた対策（取り組み）

日南中学校の教育目標『ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く生徒の育成』の達成に向けて、「学習活動」・「育心活動」・「健康安全活動」の視点から、以下のような取り組みを継続的に進めています。P TやL P Tの徹底と充実を図り始めてから四年目を迎えました。今年度はさらにその定着度を高めたり、内容の充実を図ったりしています。

2021年度から新しい学習指導要領が実施されるにあたり、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて着実に取り組んでいきたいと思っております。



【学習活動】

(1) 授業改善

次のような授業をめざし、小学校とも連携を図りながら研修を行い、生徒にとってわかりやすい（「わかる」）実感の持てる授業の工夫・改善に取り組んでいます。

- 分かったことを友だちに説明することで理解をさらに深めることができる授業
- 自分の考えを説明しきるような発表を重視した授業
- ICT機器を利用して興味・関心を喚起し、理解を一層図る授業
- 誰にとってもわかりやすい授業（目標の明確化、予定の提示、板書の工夫等）
- 学習事項がより定着する授業（小テスト、前時の振り返り、宿題等）
- ペアリング（関わり合いながら隣同士で聴き合える学習）を基盤にした授業

(2) 学習習慣の定着・学習内容の充実

家庭学習の習慣の未定着、家庭学習の時間の不足が大きな課題です。毎日の積み重ねや家庭での学習を明確に（何をしたらよいのかをはっきりさせる）するために具体的に取り組んでいます。

○P. T（パワーアップタイム）の充実 15:30～16:00

5教科に限定して、毎日30分間、教師が作成した課題（定期テストに出題される内容）に取り組んでいます。日々の学習の積み重ねの習慣化と効果の実感（定期テストでのポイントを確認）をねらいとしています。内容をさらに洗練させています。

○L. P. T（ロングパワーアップタイム）の充実 15:30～16:20

定期テスト前の部活動停止の際に、P. Tの時間を延長して取り組みます。各自でテスト勉強の計画を立て、教師への質問や教え合いなどをしながら進めます。

○アフタースクール 16:30～18:00

自学自習を原則としますが、定期テスト前、または3年生は放課後に残って学習を続けるように勧めています。自宅では集中力に欠ける、友達に教えてもらいたい、先生に質問したいなど、学習意欲の実践化、学習効果の向上を図っています。

○テスト勉強計画の作成（計画・実行・修正）

テスト勉強で自分がすべき教科、内容、時間、方法を自分で立てます。P. TやL. P. Tの日程を考えたり、テスト範囲にピンポイントで対応する課題を示すことにより、一人ひとりがより明確で、具体的な学習を進めることができます。今年度より、

計画の実施状況を担任との面談で反省し、次の定期テストの計画に生かすことに取り組んでいます。

○家庭学習がんばるウィークの設定

定期テスト前などの一定期間を「がんばるウィーク」と設定し、集中的に家庭学習をすすめる啓発活動を行っています。家庭や地域でも積極的にご協力を頂きたい取り組みです。小学校も同じ時にこれを設定しています。

【育心活動】・【ともいき科】

(1) 仲間づくり

各学年単学級となる現状の中で、小学校からつながる人間関係・仲間関係を順調に、円滑に、上手に活かせる仲間づくりを進めています。

○学校行事の活用した企画力・運営力

体育祭、文化祭を通して生徒の自主性、積極性を養います。その中で縦割りのつながりや学級・学年のつながりを体感し、よりよい仲間づくりを進めます。

○発表の場で活かすプレゼンテーション力・コラボレーション力

あらゆる機会をとらえて、自分の考えや気持ちを多くの人前で話すことができる力、表現力の育成に努めます。日常生活の中でも臆せず話したり、接したりできることが自信にもつながると感じています。

(2) 自尊感情・自己効力感・自己肯定感の高揚

「自分にはよいところがある」「他者から認められていると思う」という思いが少しずつ向上しつつあります。さまざまな場面を通して、自信を持たせたり、喜びを感じさせたりすることが、よい成果・効果につながると考えています。また、そのままの自分を良しとして受け入れることができるようになると思います。



【健康安全活動】

(1) 規則正しい生活習慣の育成

生活習慣と学力には相関関係があります。食事、睡眠、余暇の過ごし方、学校生活の過ごし方など、学校においても望ましい生活習慣の徹底について引き続き取り組んでいきます。今年度9年間を見越した「歯と口の健康」についての教育課程を構築していきます。

○生活習慣がっちりWEEK・生活習慣アンケート

学習や良好な人間関係の基礎となる生活習慣をしっかりと身につけるために、朝食や睡眠について、自分の生活を点検します。

○教育相談活動

一人ひとりの生徒の実態把握に努め、信頼関係を築いた上で、生徒の悩みや困り感に寄り添った支援が大切だと考えています。事前のアンケートを元に各学年の必要性に沿った懇談になるようにしています。

